

令和4年度第2回小金井市長期計画審議会 次第

日時 令和5年3月23日（木）午後2時から

場所 市民会館・萌え木ホール A会議室

1 令和4年度の施策評価について

2 その他

■配布資料

資料1 令和4年度施策評価について（答申）案

令和4年度 施策評価について (答申)案

令和5年3月

小金井市長期計画審議会

施策 1 みどりと水の環境整備

長期計画審議会コメント

- ・小金井市が誇る「みどりと水」の保全にとどまらず、その魅力がより多くの人に伝わり小金井市に住みたいと思わせるような仕掛けや、その資源を活用して「稼ぐこと」に期待したい。
- ・環境美化サポーター制度などの市民協働の推進を図っていることを評価する。
- ・市立公園に指定管理者制度を導入することで、市民サービス及び公園環境の質の向上が図られるよう、関係者と意見交換を行いながら、満足度のさらなる向上を目指し、取組を進めていただきたい。

【意見】

切れ目のない協働の仕組みづくりに向けて世代別の参加率の分析ないしはイベントの実施を検討いただきたい。

総括・自己評価について、指定管理者制度の導入が市民協働の促進につながるという部分が少々分かりづらい。

施策 2 循環型社会の形成

長期計画審議会コメント

- ・市民の生活様式の変化でゴミが一時的に増えたことは仕方ないことだが、その環境下でも削減するには新たな対策が必要になると考えられる。
- ・3Rに取り組む市民の割合は増加しているので、効果的な啓発活動を展開できるよう、様々なツールの活用も検討していただきたい。

【意見】

アンケート調査から、市民の3Rに対する関心の高まっていることが伺え、啓発活動の一定の効果が感じられる。一方、ゴミ排出量は、生活様式の変化等、市民の意識以外の部分からも影響を受けるものとする。

総括・自己評価について、行動変容の中身についてももう少し説明があってもよかったように思う。

施策3 環境保全の推進

長期計画審議会コメント

- ・小金井市気候非常事態宣言を発出したことをはじめ、省エネに関する取組を推進したことで、市民の意識啓発を図れ、省エネルギーに取り組む市民の割合は比較的高く、評価できる。
- ・地球温暖化対策の推進について、「意識」から「行動」につなげる具体的取組みが今後の課題と考えられる。

【意見】

地球温暖化対策については十分に意識しているが、具体的な行動が分からない。寧ろ、現在では、物価高騰への対応として電気・ガス・石油等の節約に邁進しているのが実態ではないだろうか。

施策4 市街地の整備

長期計画審議会コメント

- ・駅周辺整備が着実に進んだことは評価できる。小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合が5割に満たないため、市民の声を取り入れながら、まちの魅力を発信する取組にも力を入れていただきたい。
- ・武蔵小金井駅北口や東小金井駅北口の区画整理事業については、丁寧な説明と情報発信に努めていただきたい。

【意見】

「小金井らしさ」とは何かについて、市民参加を取り入れ、明確にすることを求める。武蔵小金井駅前の再開発を見ると、利便性に偏っているのではないかと感じる。例えば小金井阿波おどりでは再開発後、出場者と観客と間に距離を感じるようになったという声を出場者側から聞くことがあった。

区画整理事業は着実に進んでいるということは成果だが、東小金井駅北口の整備は、かかっている時間に対して目に見える変化が少ない。現地に完成予定図などのわかりやすい掲示などがあれば、市民の理解と完成への期待値が上がるかもしれない。武蔵小金井駅北口は、小金井市の中でも経済発展、魅力的な市街地のアピールに一番重要なエリアだと思う。早急なプラン作成が必要。

施策5 住環境の整備

長期計画審議会コメント

・各事業が進捗したことで、アンケート結果が目標に近づいたことは評価できる。多岐にわたる助成事業の達成率も高くこれらも評価できる。さらに市民へ周知する取組の強化、課題解決に向けた対策に努めていただきたい。

【意見】

住環境の整備、まちの美観維持等の事業が順調に進捗していることは評価できる。

施策6 都市インフラの整備

長期計画審議会コメント

・インフラ整備事業や通常のメンテナンス作業等、災害に強い都市基盤を整備し、適切に維持管理していくことが重要である。
・長期的・日常的に取り組む課題であるが、そのために必要な各種調整を丁寧に行っていただきたい。課題は多いと思われるが、計画に基づいた進捗管理に努めていただきたい。

【意見】

なし

施策7 交通環境の整備

長期計画審議会コメント

・市内を安全に移動できると感じる市民の割合が増えていても交通事故死傷者数の推移等、常に問題意識を持ちつつ様々な角度から対策を検討していただきたい。
・ココバス再編事業の推進により、市内の交通環境が改善されることに期待する。放置自転車対策や交通安全事業については、利用者等の声を聞きながら、より効果的な対策を検討するとともに、定期的な啓発活動に努め、市内の交通手段における利便性への満足度を上げて欲しい。

【意見】

交通事故死傷者数が減っていないことから、安全性の観点で取り組みの効果が低いと考える。市内交通の安全性の改善について、より具体的かつ効果的な対策を検討していただきたい。ココバスによる利便性向上については一定の効果はあると考えられるものの、利用者は限定的と推察する。体が不自由な方、赤ちゃんから高齢者に至るすべての世代にお

いて利便性と安全性の両立した交通環境の整備を求める。

生活者として日々車との接触の危険性や「歩きにくさ」は他市と比較しても強く感じており、安心した子育てや高齢化の進展、コミュニティの再生を考え、車の通行を一定の時間停止するなど工事によらないウォークアブルな取り組みを進めていただきたい。

施策 8 危機管理体制の構築

長期計画審議会コメント

- ・コロナ禍の影響ではあるが、防災訓練に参加したことがある市民の割合が減少してしまったことは、今後の大きな課題である。
- ・感染症がまん延している時でも災害は起きる可能性があり、このような事態における有効な対策を講じながら訓練が再開できるよう、引き続き体制の強化を図っていただきたい。
- ・まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合と実情は乖離があるかもしれない。広報し実情を正確に知ってもらい、備えの効果的な活用に役立ててほしい。

【意見】

自助、公助面での防災意識の向上には体験型防災訓練を定期的を実施することが求められる。更に、地域毎の自主防災組織が活発に活動することが肝要であり、例えば、門扉に下げる「SOS 安否確認カード」は避難弱者に大きな安心感をもたらしている。

施策 9 地域の安全・安心の向上

長期計画審議会コメント

- ・自動通話録音機の貸出等、一定の成果が上がっていることは評価できる。
- ・振り込め詐欺等の犯罪が未然に防げるよう、警察署等関係機関とも連携し、取組が広く認知されるよう、広報にも力を入れていただきたい。空家対策も重要な課題であり効果的取組みに期待する。

【意見】

犯罪の手法は日々変化するため、今後も時代に合わせた広報や啓発活動が必要になると考える。

施策10 産業・観光の振興

長期計画審議会コメント

- ・コロナ禍においては、イベント等の実施が制限される中、様々な創意工夫により事業を実施したことで、まちに活気があると感じる市民の割合が増えたことは評価できる。
- ・今後は、コロナ禍での経験を活かし、更なるまちのにぎわいを創出していただきたい。
- ・小金井には素晴らしい観光資源が顕在化しないまま埋まっているように思える。これらを掘り起こし小金井の観光における産業振興をリードする仕組みを考えていただきたい。

【意見】

小金井から都心の企業へのリモートワーカーが増えていると感じる。こうした市民の副業やボランティアなどの創出を促す取り組みを期待する。

施策11 都市農業の振興

長期計画審議会コメント

- ・将来的には人口減少が予想される中、農業者の減少はより深刻になっていくと考えられるため、新規就農者の更なる確保に向けた取組に努めていただきたい。
- ・コロナを機とした生活スタイルの変化（在宅勤務やネット購入）が、市産農産物の購入率の低下の要因の一つとして考えられ、生活スタイルの変化に応じた対策も必要と考えられる。
- ・イベントを通じた販売やPRに限らず、ICTなどを活用した現在の生活スタイルに見合った方法も検討いただきたい。

【意見】

指標1が6.3ポイント減になっているにも関わらず、コロナ禍の影響も考えると一定の成果を上げた、と評価するのは楽観的すぎると考える。農産物の購入は、コロナ禍のありなしに関わらず、日常的に行われる活動であり、むしろコロナ禍でスーパーなどに行きづらくなった時こそ、庭先直売所の利用が増えることも期待できたと思う。日常的に農産物を購入する一市民として、年に一回程度の農業関連イベントの中止が大きく関係しているとは考えづらい。単純に市民が小金井市産農産物を毎日の生活圏内で目にすることが少ないのでは。

”とかいなか” 小金井のポイントの一つは農業である。庭先直売所マップは極めて有効であった。今後、学校給食での使用率アップ、食育活動との連携等々農業の魅力発信に期待したい。

施策 1 2 子どもの育ちの支援

長期計画審議会コメント

- ・ コロナ禍の影響により、人と人が触れ合う機会が減少している中、子どもの居場所づくりや豊かな体験ができる機会の提供は、様々な工夫をしながら継続して取り組むことが求められている。子どもオンブズパーソンの設置等、新たな事業の周知にも努めていただきたい。
- ・ 市民が「子どもが育ちやすい環境だと思える」かどうかは交通環境や環境、教育など総合的な観点で導き出されると感じる。関連課と共同した取り組みがより増えることを期待する。

【意見】

子供の権利意識については学校など日常生活の中で形成されていくものと考え。親や教師など周囲の大人への啓蒙や、理不尽な校則に対して子供からの意見で変更して行く機会の設置など、日常の中で子供の権利を実感できる取り組みを求める。

指標 2 の、自分には良いところがあると思う小学生の割合が 7.3% も落ちていることは、大変な懸念である。早急に具体的な改善案を出し、取り組むべきところだと思う。

小金井にある大学や専門学校との協働に期待したい。

施策 1 3 子育て家庭の支援

長期計画審議会コメント

- ・ 指標のアンケート結果については、全体的にまだまだ低いものの、当初から増加していることは評価できる。
- ・ 子育て家庭を支える様々な支援策をわかりやすい方法で周知徹底するとともに、コロナ禍や物価上昇の影響による保護者の経済的負担を軽減する等、多様化する保育ニーズを的確に捉えていただきたい。

【意見】

指標について、子育てや出産の当事者において、値がどのようになっているのかに注目する必要があるように思う。

そもそも目標設定が低すぎる印象である。子育て環境（自然と利便性の適度なバランス）に惹かれて転入する人が多いにも関わらず、子育て家庭へのサポートが充実していないというのは、期待値ギャップが大きく早急に改善すべきと考える。

施策 1 4 子育て・子育て環境の充実

長期計画審議会コメント

・コロナ禍の影響により、イベント等が中止になることもあるが、これまでに構築されてきた地域のつながりが弱まることがないよう、関係団体等との連携強化については、引き続き努めていただきたい。

【意見】

指標について、子育てや出産の当事者において、値がどのようになっているのかに注目する必要があるように思う。

そもそもの目標設定数値が甘いと感じる。本目標に対して複数の市民が同様の感想を抱いている声を聞いており、市民との認識の齟齬が特に大きいと思われる。

小金井が協定を結ぶ大学や専門学校および私立高校と連絡をとり、これらの学園を子育て・子育ての環境にする取り組みを強化してほしい。

施策 1 5 学校教育の充実

長期計画審議会コメント

・コロナ禍で多くの制約がある中、目標に向けた取組を継続し、このような条件下でも成果が上がっていることを高く評価したい。

・社会情勢の変化は、学校生活の現場にも影響を与えるため、コミュニティ・スクール制度や新たな仕組みも構築しながら、あらゆる状況に対応できる体制を整えていただきたい。

【意見】

学校が楽しいと思う児童生徒の割合を 100%にするというのは、現実的には不可能な目標ではあると思う。しかしそれに近づくように取組することは大切。評価に記載がある通り、コロナ禍の制約が甚大な影響を与えていると思う。コロナ禍の制約がなくなりつつある今、学校生活を平常に戻すことが急務である。

小中学校での不登校生徒数や出現率が上昇する中で、既存の学校以外の学びの場の確保と整備を進めていただきたい。

指標はいずれも教職員に大きく影響される。教職員のフォローも必要と考える。

施策 16 学校環境の整備

長期計画審議会コメント

- ・トイレ洋式化率の向上やエアコン設置等、学校環境の整備に一定の成果が上がっていることは評価できる。
- ・計画に基づいた施設の老朽化対策を進めるとともに、ICT機器の使用を促進していただきたい。
- ・今後の児童生徒数の増加に伴う対策について、適切な対応を図っていただきたい。

【意見】

指標について、実際に学校に子どもを通わせている回答者の値に注目する必要があるように思う。

教育環境の一つとして図書館の充実も考慮すべき視点であろう。紙媒体の図書に限らずデジタル図書の充実を図っていただきたい。

トイレとエアコンばかりに集中している印象がある。総合的な環境整備を図っていただきたい。

施策 17 芸術文化の振興

長期計画審議会コメント

- ・アンケート結果が当初よりも減少していることは課題であるが、感染対策を講じながら実施できた事業が増えたことは、今後の取組にもつなげていただきたい。
- ・芸術文化振興計画推進委員会に御意見等もいただきながら、施策の推進に努めていただきたい。
- ・小金井の持つ芸術文化に関わる資源をより魅力的に広報していただきたい。

【意見】

評価が難しい分野だが目指す姿には共感する。市民としても芸術文化の鑑賞できる機会が多く提供されているなど感じている。引き続き頑張っていただきたい。

ストリートピアノや展覧会など市民団体と提携して芸術などの取り組みが実施されていることを評価する。

施策18 国際交流・都市間交流の推進

長期計画審議会コメント

- ・コロナ禍でオンラインという新たな取り組みができたことで、今後コロナ禍ではなくなっても、より多様な交流の機会が設けられるよう期待する。
- ・交流の輪を広げる取組が止まらないよう、関係団体等との連携にも努めていただきたい。

【意見】

新しい取り組みを実施したことは評価できるが、異文化に触れる機会が増えたと感じる市民の割合が増えておらず事業内容が成果につながっていない可能性もある。事業内容を再考もしくは広報の強化も図るなどして、成果につながる事業の実施を検討いただきたい。

ウクライナにおける戦争やトルコ・シリアの地震について小金井が埒外にいることはできない。国際交流の一環として何らかの取り組みを期待したい。

Actionに明記されている小金井市内のNPOなどとの連携に期待する。

施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重

長期計画審議会コメント

- ・感染症対策として規模を縮小し、コロナ禍でも事業を再開したことで、一定の成果が上がっていることは評価できる。
- ・継続した意識啓発が必要であるため、啓発活動の維持・強化に努めていただきたい。

【意見】

市職員管理職における女性の割合を増やすなど、実態を現す目標数値の設定とアクションを進めていただきたい。

平和に対する啓発的な行事などの取り組みを評価します。

人権が尊重されているか、男女平等であると感じるかどうかは、個人の立場や家族環境、過去の教育など様々な要素に左右されるため、数年で結果を出すのは難しい面もあると思う。主な取組は成人向けのものに見受けられるが、小中高校生向けの取組・評価もあると良い。

施策 20 生涯学習の振興

長期計画審議会コメント

・コロナ禍においても生涯学習の振興に向けた一定の取組が実施できたことは、今後の事業にもつなげていただきたい。指標の目標には達成していないため、計画に基づいた事業の推進に努めていただきたい。

【意見】

公民館主動で読書会などのイベントを継続的に実施している点を評価します。

小金井市として Twitter で情報発信する等、引き続き精力的に取り組んで欲しいと思う。生涯学習は大学との相性が良く、連携して拡充していくことを検討するのも一案かと思う（例：武蔵野市は武蔵野地域の五大学と連携して武蔵野地域自由大学を運営）。

市民のなかには自主的に生涯学習に取り組む団体がある。これらにスポットライトを当てて、活動を紹介することも生涯学習の振興につながると思う。

施策 21 スポーツの振興

長期計画審議会コメント

・東京 2020 大会を契機に、スポーツに対する関心が高まったと考えられるが、市民の継続的なスポーツの実施につなげていただきたい。

・施設の大規模改修工事の影響ではあるが、利用者数が大きく減っているため、利用者を増やす取組を積極的に進めていただきたい。

・スポーツ推進審議会の設置及び開催を評価する。今後、市民の声を反映した取り組みの実施を期待する。

【意見】

東京 2020 大会で高まった関心の受け皿が不足していると感じる。一過性のイベントではなくコミュニティの醸成や物理的な実施環境の提供などの支援に取り組んでいただきたい。

市民のなかには自主的にスポーツに取り組む団体がある。彼らは練習場所で苦勞しているとも聞く。市の施設だけでなく、大学等の施設も使えるような斡旋も大切なスポーツ振興の取り組みと思う。

施策 2 2 福祉のまちづくりの推進

長期計画審議会コメント

- ・福祉総合相談窓口の整備をはじめ、地域福祉計画は概ね順調に進んでいると評価できる。
- ・困った時に地域で助け合える関係性を持っている市民の割合は、目標の半分程度で当初から減少しており、課題のある事業については、効果的・効率的な実施方法や周知方法を検討していただきたい。

【意見】

高い目標設定を置いているところを評価する。

若いうちからの地域参加を推進する取り組みを期待する。

計画の達成率に対して市民の満足度が追いついていないように見える。事業の再考もしくは周知にも努めていただきたい。

指標 1 の目標達成に向けた新たな対策が必要ではないか。

施策 2 3 高齢者の生きがいの充実

長期計画審議会コメント

- ・高齢者が社会活動・ボランティア活動に参加できる機会を増やすため、各種計画に基づいた事業の推進に努めていただきたい。
- ・高齢者の最大の「切なさ」は社会の断絶であるとともに、それを自ら招くなどの複雑な高齢者心理があると思われる。高齢者個々に寄り添った事業を検討いただきたい。

【意見】

高齢者農園事業など幅広く参加の窓口を広げている点を評価する。

ある程度若いうちから地域参加する機会を作ることが社会活動参加の比率を大きく向上させるポイントになると考える。

シルバー人材センターは 2 年連続赤字が続いたが、令和 4 年度には収支黒字を確保するメドが付きつつある。また、会員数についても、下げ止まる可能性が出て来た。但し、コロナ禍による市民生活の変容の影響は未だ残っている。

施策24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

長期計画審議会コメント

- ・アンケート結果が増加していることは、多岐にわたる事業が一定の成果を上げていると評価できる。
- ・高齢者にとって暮らしやすい地域とはどのようなものなのか把握と共有、つながり作りへの取り組みを期待する。
- ・事業の進捗管理が課題であるが、計画に基づき、着実に取り組んでいただきたい。

【意見】

第8期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画（p50, p51）に見られるように体系に則り施策も充実してきている点进行评估する。

介護者の負担軽減を目的とした施策を進めていただきたい。

コロナ禍におけるリモート交流に向けてのZoom等の講習会は盛況が続いている。家事援助では、高齢者男性から買い物代行の依頼が市内全域で増えている。

施策25 障がい者福祉の充実

長期計画審議会コメント

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により進まなかった事業や施策全体の課題解消に向け、事業の見直しや関係団体等との連携強化に努めていただきたい。
- ・指標結果は低かったものの、啓発事業等の実施については、継続して行っていくことが重要である。

【意見】

医療的ケア児の受入れ体制や看護師の配置など環境面の整備を進めていただきたい。

障害を持つ方を隔離するのではなく共に学ぶ機会などが必要だと感じる。

共生社会に向けて、精神障害に対する理解度は身体障害に比べて薄いのではないかとと思われる。

「自立生活支援」という考え方から「社会活動支援」という考え方への転換の検討を始めるべき時かもしれない。障がいのある人もない人も互いの特性を認め合い、同等に社会的責務を果たすことで本来的な「障がい者福祉」が実現するのではないだろうか。

施策26 健康の維持・増進

長期計画審議会コメント

・コロナ禍による生活様式の変容が生活習慣を見直すきっかけになった一方で、健診等の受診率が減少していることが課題となっているため、定期的に健診等を受診することの重要性を周知・啓発するとともに、受診しやすい仕組みを検討していただきたい。

【意見】

コロナ禍における最も大きな市民の意識変革は、“かかりつけ医”を持つことの意義が徹底したことである。ワクチン接種に係わった市を始めとする関係各位に敬意を表したい。

費用の問題もあるが、もう少し質の高い健診内容であってほしい。場合によって、一部の自己負担があっても質の高い健診を希望する方もいるのではないか。(公平性の原則からは極めて困難かもしれない。)

施策27 市民参加・協働の推進

長期計画審議会コメント

・会議やイベントのオンライン開催が一般的に浸透してきたことを市民参加・協働の推進の機会と捉え、新たな手法を検討していただきたい。また、町会・自治会加入促進の市報1面掲載に反響があったことから、様々なツールを効果的に活用できるよう、取組を積極的に行っていただきたい。

【意見】

行政の会議や協働事業などに参加された方のその後のフォローアップに取り組んで頂きたい。彼らはそれなりに満足感を得ていると思われ、様々な協働事業に再参加したいと思っているのではないか。

市民参加推進会議でのフィードバックを受けながら施策を展開していく取り組みを評価します。

指標を見る限りだが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、見込んだ成果が上がっていないと見られる。オンラインの活用が参加のハードルが下げられる分野と思う。

地域課題への市民参加の最も効果的な動機付けは“見える化”だと思う。また、少額でも有償ボランティアが望ましい。

施策28 積極的な情報発信

長期計画審議会コメント

- ・ SNS等の活用、公式アカウントのフォロワー数の増加等、事業が一定の成果を上げていることは評価できる。効果的に小金井市の魅力を発信する手法も検討しつつ、シティプロモーションの推進を図っていただきたい。
- ・ 高度情報化社会が到来し、市民レベルのデジタルリタラシーは非常に高い。発信情報の内容の品質はもとより、表現法も重要であり、市内の大学や専門学校の協力を得て、表現法をブラッシュアップする取り組みを期待する。

【意見】

指標1の目標設定が低すぎる。Twitterによる情報発信が定着しても肝心の市報やHPが現状のままでは意味がない。シティプロモーション以前に、市報とHPの2つを早急にテコ入れすべきだと思う。

理想像から逆算したステップが見えず、指標の展開などが行き当たりばつりに感じる。他の施策と同様に関連計画を立てて、施策を打っていただきたい。

施策29 計画的な行財政運営

長期計画審議会コメント

- ・ 第5次基本構想・前期基本計画をはじめ、行財政運営に関する重要な計画の策定や見直しが進んだことは評価できる。今後は、計画を基に具体的な取組を進めるとともに、適切な進捗管理や評価を行い、目標達成に努めていただきたい。
- ・ 計画は大枠であり、様々なタイムリーな事象にも弾力的に対応できるようにしていただきたい。

【意見】

行政評価制度の導入などPDCAサイクルの強化を重点に置いている点を評価する。

公民連携アウトソーシングは慎重に進めていただきたい。支出の圧縮を目的としたアウトソーシングが非正規職員への低待遇などの社会課題の拡大に繋がらないよう、コスト構造がどこから生まれているのか確認した上で注意深く進めていただくことを期待する。

指標1は目標設定が低すぎる。新庁舎の建設が大きな論点だと思うが、マイナンバーカードの普及に伴って市役所に行く必要性が数年前から格段に減っているなかで、新庁舎の必要性や投資規模の妥当性、財政（市民）への影響について改めて丁寧な説明が必要だと思う。少なくとも若い世代の意見として「そもそも市役所に行くことなんて殆どないのだから多額の借金をしないで欲しい（もっと投資すべきことがあるはず）」と思っている。